

2024年9月8日(日) マイカ 海月(みづき) 引本港
中潮:旧8月6日 干潮14:01(79cm) 満潮19:59(172cm) 干潮24:34(51cm) 引本港湾
私 マイカ 19杯
ツレ マイカ 6杯 アジ 9尾

14時00分 自宅発
16時00分 事務所着 (高速、コンビニ)
17時00分着でよい。
15時00分出発でよい。釣り座は船長の指示。
17時00分 集合、受付
17時45分 出船
19時59分 満潮 (172cm 引本港湾)
24時10分 納竿(いつもは23時30分とのこと)
場所移動を3回したので40分延長とのこと

【料金】

男性 11,000円 女性 9,000円
氷は各自持参。釣り座は船長の指示。

【仕掛け】 イカメタル、オモリグ、バチコンを持参

鉛スッテとドロPPERまでの間は1.2m。
→ 長すぎるため掛かった時に扱いにくい。
次回は間を1.1mで試す。
ドロPPERは2つ付けてもよいようで、枝間が60cmくらいだった。
ドロPPERと鉛スッテの間は1mでもよいのではないかと。
ドロPPERのハリスは20cm。幹糸・ハリスとも3号。
イカメタルの鉛スッテは25号
オモリグはやらなかった。
バチコンのオモリは40号と指定があった。

船長に借りた。2つなくしたが、お金は払わなくていいとのことだった。

豊漁丸船長より(前回の記録から)

※鉛スッテ:25号 お勧めは赤緑。

※ドロPPER:お勧めはフラッシュブースト1.8号 赤緑。両方とも赤緑でよい。

→ 今日と同船者がイーゼースリムでよく釣っているとのことだったので、フラッシュブースト1.8号赤緑に替えて、イーゼースリム赤緑にした。

※ドロPPERのハリスは15~20cm

→ 上手な人のハリスは10cmほどだった。

※ステイ20秒。ステイであたりがある。

→ 今回は15秒とした。海月の船長はステイ5秒と言っていた。

※当たりがはっきり出るのはまれである。違和感があれば合わせる。



さっそく、マイカとアジの刺身で食べました。小さなマイカは洗うことなくそのまま焼き、マヨネーズ・醤油・七味を混ぜたものをつけて食べました。これは海月船長からのお勧めです。どちらも美味しかったです。マイカは身が柔らかくて良いですね。

【様子】

- 3日前に予約しようといろいろ電話したが、どこも一杯でやっと本船を見つけた。
- 微風、波少々で予報どおりであった。
- 途中、潮が速くなりツレはオモリグを30号に替えた。その後、二人ともタングステン25号にした。
- 潮が速いときに仕掛けを落とすと、潮で流され、仕掛けが斜めに入っていく。目指す水深で止めると、止めることで潮の影響が少なくなり、手前に戻ってくる。これが誘いになるようで連続ヒットさせることができた。この時の棚は48mだった。
- 船中で最初に掛けたのは私で、最後に掛けたのも私だった。
- 多くの人が20杯前後だった。
- ツレがなかなか掛からないということで、バチコンをした。1時間ほどでアジを9本釣った。

【ヒットパターン】

- (1) 船長の釣り方
 - 竿先を小さくゆっくり5回上下させる。5秒待つ。これを2～3回繰り返す。
 - 当たりがなければ、ワンピッチで4～5m巻き上げる。
 - これを繰り返す。
- (2) 船長の話聞いて次のようにやってみた。今日のヒットパターンとなった。
 - ①竿先を小さくゆっくり5回上下させる。15秒待つ。
これまで20秒～30秒待っていたことから、15秒とした。
 - ②違和感を感じたら(イカが触っていると感じたら)、竿先を5回さらに小さく揺する。
小さく揺すっているときや、5回揺すった後、そーと聞き上げたときに当たりが出た。
巻き合わせで掛からなかったときは、再度、棚の深さまで落とした。
 - ③違和感を感じなかったら、①をもう一度繰り返す。それでも違和感がなければ次の棚を探る。
 - ④これまでは、3回巻いて2mずつ上げてきたが、6回巻いて4mずつ上げてきた。
船長が4～5m巻き上げると言っていたから。この方が広く早く棚を探れる。
 - ⑤一番上の棚まで来たら、5mずつ落として、①～③を繰り返す。
 - 違和感を感じたらすぐに合わせるという方法ではあまり掛からなかった。

【マイカの釣り方2】 以前の記録から

- (1) 基本の誘い
 - 大きく竿を2回あおった後、小さく竿を数回あおり、待つ。待っているときに当たりがある。
 - ステイは20秒、ステイでイカが触ってくる。
 - イカが触っているのかなとか、何か違和感を感じたら、合わせるタイミングを見計らって、素速く合わせる。掛かっているときはグッと重くなる。いなければ竿先が上の方まで上がるので、それに続けて数回小さくあおって誘い、待つ。
合わせた後、リールを巻いたなら、違和感のあった棚まで戻す。
- (2) 釣れなかった場合は次の棚を探る。
 - 大きく振り上げて、竿先を戻しながら、リールを3～5回巻く。
- (3) ゆっくり竿先を下げて誘う方法
 - ①スーッと竿を大きくあおって止める。
 - ②ゆっくり竿先を下げてくる。
この時、軽くなったり違和感を感じたりしたら、当たりであるので、合わせる。
下げてくる途中で止めることもする。

③一番下まで下げたら待つ。

ここで当たることも多い。

(4) ソフトな誘いとロングステイ

①竿を2回あおって、20秒～30秒止める

②当たりがなければ、もう一回あおる。少し待つ。ここで当たりがないか、確認する。

③当たりがなければ、竿をあおり、竿先を下げながら、3回リールを巻く。(仕掛けを2mほど上げることになる。①にもどる。)

【次回に向けて】

○潮が速いと釣りにならない。もともとも潮の緩い時に行ってはどうか。

本日 中潮:旧8月6日

干潮 14:01(79cm)

満潮 19:59(172cm)

干潮 24:34(51cm)

) 差が93cm

) 差が121cm

干満差が100cmを超えない日に行ってはどうか。小潮か。

○海月 マイカ

イカメタル 鉛スツテ 25号 赤緑 タングステン25号

ドロPPER イージースリム赤緑 フラッシュブースト1.8号赤緑

幹糸、ハリスとも3号 エダス 5cmか、15～20cmか

枝間 110cm (100cmにしようか。)

隣の上手な人

ドロPPER2つ、鉛スツテと上のドロPPERまでの長さは120cm、下のドロPPERはそのまん中にある。

上のドロPPERと鉛スツテは赤黄(蛍光イエロー)で下のドロPPERはピンク色

上のドロPPERと鉛スツテでイカに注目させ、下のドロPPERで喰わせるとイメージだった。

○ドラッグ調整

マイカは身が弱くて、マイカが強くと身切れしてしまう。これを防ぐにはドラッグ調整が必要だ。手で糸を引っ張ったとき(引き方は強すぎず弱すぎず)、ドラッグがすべる状態にする。当たりがあったら、ドラッグが滑らないようにリール(糸が巻かれているところ)を親指で押さえて合わせる。イカが掛かったら、親指を離し、ドラッグがすべる状態にして巻き上げる。

○釣れる時間帯を見極め、釣れる棚を見極めることが釣果につながる。

○釣れる時間帯にお祭りしたときは、祭った仕掛けをさっさと切って、新しい仕掛けに替えるべきだ。